

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

10月号(NO49)通巻199号

2022年10月10日(月)発行(毎月10日)

【農暦】秋を演出してくれる花である！

○暑さ寒さも彼岸までというが、彼岸過ぎても暑い日が続き、朝寝坊には朝の陽射しが強く感じ、農作業は夕方になる。夕方は虫が多い。無防備の素手は直ぐにやられる。やはり秋ですね。虫の音が、赤とんぼも、ウロコ雲が空一面に広がっていた。思わずシャッターを

押していた。この雲の時は、秋の清々しいものを感じる。だが、寒暖の差の激しさに身体が順応しない。12月下旬の気温から夏日に近い気温になる。気候予報で半袖を一着位は残しておいて下さいと云っていた。最近春と秋が短いと感じる。

○秋をしっかりと教えてくれるものに金木犀の香りがある。今年は花がいっぱいで強烈な香りが漂っていた。秋を強く感じる。また正反対な存在なのが萩である。可憐な花を付けていた。どちらも好きである。愛でたいと思う。秋を演出してくれる花である。やはり可憐なのがいい。大事にしたいものである。

○萩はマメ科で土を肥沃にすると云う。マメ科と言えればれんげ草である。たぶと(田太)言われ子供の頃は田んぼで作られていた。空気中の窒素を根粒菌で固定する。窒素と言えば水俣が思い出される。また、カーボンゼロ施策の柱に窒素(水素も)発電プラントの開発推進?の計画があるが、問題が無ければと思う。時代の流れに驚くばかりである。

○マメ科の萩でカーボンゼロまで飛んでしまったが、窒素過多が心配された黒豆が莢(さや)を大きくしている。黒豆としてでなく枝豆用として収穫し、酒のつまみで、美味しく頂いた。窒素過多で実を付けない豆を経験していたので心配だった。また、薩摩芋のシルクスweetは不作だったが、紅はるか普通?に穫れた。ご近所さんにお裾分けした。喜ばれたようである。

○草は少し油断すると元にもどっている。やはり草刈りは継続である。まともな菜園にするには、これからの草刈りが問われているようだ。木の枝切り、剪定もある。まだまだである。植えたばかりのブッロコリー、白菜が虫に食われていた。何とか育って欲しい。(了)

【楽農】<畑>、トマト、ピーマンを少しづつ収穫、菊、黒豆の枝豆、薩摩芋の収穫。

ブッロコリー、白菜など植える。草取り、草刈り。

【楽市】イベント等；詩吟例会(29日)共生会、川柳の会(6日)笠吟連会長会(10日)



<ウロコ雲>29日撮影



<黒豆>30日撮影

【つぶやき=Tweet】報道の自由度ランキングと都道府県別魅力度ランキング？

○民主党主導の性教育「娘が洗脳される」と、9日の朝日新聞の一面の小見出しにあった。アメリカ中間選挙の記事だった。墮胎罪支持の共和党を応援しているように読めてしまう。朝日が変わったと？最近感じることもある。テレビでは4番と5番が入れ替った感がある。旧統一教会の報道でも日本テレビはよく報道しているように見える。

○今年5月の報道の自由度ランキングで180ヶ国中で、日本は71位だった。G7では最下位である。北欧が上位で、イギリス、米国は40位代以降である。最近の新たな冷戦時代を思わせる覇権主義的な世論が気になっているが、この数字の意味するものは大きい。

○戦争を煽っても止める論調がない。帝国主義の世紀は終わったと思いたいのだが、覇権主義の緊張は高まるばかりである。人類の未来は危うくしている。覇権主義に加担せず国際協調の世界にしたものである。先日のテレビでガダルカナル海域を日米の軍艦が巡行する映像を見た。戦争が始まったのかと錯覚しそうなものだった。ガダルカナルは叔父が日米の海戦で戦死した所である。連想してしまったからだ。平和憲法の日本が消えた？怖い。

○自民党の野田聖子・前男女共同参画担当相が4日、超党派の女性議員らでつくる勉強会で、「世界平和統一家庭連合（旧統一教会）」などの、伝統的な価値観を重視する宗教団体？が自民のジェンダー政策に一定の影響を与えた可能性があるという認識を示したという。影響を受けた地方議員、首長がいることは難なく想像出来る。地方自治体までジェンダーフリー政策に影響があった可能性はある。自治体で政策の格差を感じるからである。

○温暖化対策（ごみ問題も）の取り組みでも自治体で大きな格差？がある。良い意味での競争なら歓迎なのだが、ジェンダーフリーのように密かに後退ならよろしくない。アメリカでは墮胎罪が焦点になり民主党が中間選挙で追い上げている。結果が気になる。

○都道府県別魅力度ランキングで茨城県は46位で最下位を免れた。今年佐賀県47位であった。気候に恵まれ、首都圏に近い。筑波学園都市には企業などの研究部門が多くある、国を代表するような企業の拠点もある。なぜと思ってしまう。葵の印籠の黄門さんの国である。強いて言えば保守的雰囲気がある。外からは来た者にはそれが一番気になる。歴史の積み重なりが滲みついでの結果なのかも知れない。

○NHKの100分の名著でアイヌの番組を見た。クナシリ、エトロフも、元はアイヌのものだったのだ。人類史は侵略の歴史であったことを忘れてはならなかった。21世紀は貧困のない平和な世紀であって欲しいと思う。（了）

○断捨離考：残念ながら停滞、再開したい。

【後記】覇権主義の克服かな！【HP転載】



<金木犀>30日撮影



<萩>30日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com